



目次

発刊によせて	1
概要 とよた世界環境ウィーク 2015	2
国連・豊田市共催による「持続可能な都市に関するハイレベルシンポジウム～人と環境と技術の融合～」	3
シンポジウムプログラム	4
歓迎あいさつ	
豊田市長 太田 稔彦	8
国連経済社会問題担当事務次長 ウ・ホンポ氏 (ビデオメッセージ)	10
環境副大臣 北村 茂男氏	12
愛知県副知事 森岡 仙太氏	14
基調講演	
国連経済社会局持続可能な開発部長 ニキル・セス	16
中国 揚州市党委員会書記 謝 正義氏	17
トヨタ自動車代表取締役会長 内山田 竹志氏	18
とよたこども国連環境会議代表からのメッセージ	20
テーマ別討論Ⅰ「ポスト 2015 国際開発を背景とした持続可能な都市」	22
テーマ別討論Ⅱ「人間を中心に据えた都市開発計画：適応力のある都市」	24
テーマ別討論Ⅲ「自然環境保全と持続可能な都市」	26
テーマ別討論Ⅳ「スマートシティへの取組」	28
テーマ別討論Ⅴ「レジリエントシティ：優れた実例と得られた教訓」	30
テーマ別討論Ⅵ「持続可能な都市への投資」	32
クロージングセッション	34
閉会の辞	36
集合写真	37
記者会見	37
成果文書 (豊田宣言)	38
歓迎レセプション	46
フェアウェルレセプション	48
プレコングレスプログラム	49
関連事業 環境省 / 国土交通省 / 豊田市矢作川研究所サイドイベント	50
関連事業 ロビー展示 / アジア地域における EST (環境的に持続可能な交通) 促進のための「京都宣言」追記署名式	51
参加者実績・新聞掲載実績	52
とよた世界環境ウィーク 2015 その他実施イベント (とよたこども国連環境会議)	53
とよた世界環境ウィーク 2015 その他実施イベント (とよたビジネスフェア / 環境先進都市・防災フォーラム)	54
とよた世界環境ウィーク 2015 その他実施イベント (とよたエコフルタウンイベント / まちなかおもてなし)	55
とよた世界環境ウィーク 2015 その他実施イベント (オイスカ国際理事会 / おもてなし茶会・講演会)	56
接遇 (シャトルバス・空港接遇)	57
参加・協力団体一覧 / とよた世界環境ウィーク 2015 実行委員会名簿	58
とよた世界環境ウィーク 2015 協賛企業一覧	59



発刊によせて

2015年1月15日（木）・16日（金）の2日間、豊田市において「持続可能な都市に関するハイレベルシンポジウム～人と環境と技術の融合～」を国連と豊田市とで共同開催いたしました。23か国、7国際機関から、250名の皆様にご参加いただき、「持続可能な都市」をテーマにあらゆる側面から活発な議論が交わされました。世界的に都市への人口集中が進む中、都市をいかに持続可能にするかは、先進国、開発途上国ともに重要な問題であり、参加者と課題を共有できたことは、今後の豊田市のまちづくりに有意義であるばかりでなく、自治体が国際的に果たす役割についても認識を新たにいたしました。

今回で3回目、日本の都市では初開催となるこのシンポジウムを、国連経済社会局、国連地域開発センターのご理解・ご協力のもと約1年かけて準備を進めてきました。本市にとっては初めての本格的な国際会議であり、無事開催できたことは自信につながりました。

このシンポジウムの開催を中心に据えた1月10日（土）から18日（日）の9日間は、「とよた世界環境ウィーク 2015」とし、市民の皆様と環境について考えるイベントやおもてなし事業を開催しました。実行委員会や市の主催事業以外にも地元商店街や民間団体の自主事業なども催され、海外からの来訪者をあたたかくお迎えすることができました。

また、最新の燃料電池自動車をはじめ、産業都市豊田市が誇る市内企業の技術力についても、同時開催したビジネスフェアやとよたエコフルタウンの見学を通して来訪者に触れていただき、海外に向けた情報発信もできました。

国連をはじめとしたシンポジウム参加者からは、「豊田市のシンポジウムは素晴らしかった」とのお声をいただいております。会議の準備運営や豊田市民のおもてなしの心が高く評価され、大変誇りに思っております。これを契機に「都市の国際化」をより一層推し進め、次のラグビーワールドカップやさらなる国際イベントなどにもつなげていきたいと考えております。

最後になりましたが、「とよた世界環境ウィーク 2015」、「持続可能な都市に関するハイレベルシンポジウム」に、ご尽力をいただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

環境先進都市国際会議実行委員会

会長 太田稔彦 豊田市長





概要

とよた世界環境ウィーク 2015

2015年1月、国連・豊田市共催による「持続可能な都市に関するハイレベルシンポジウム～人と環境と技術の融合～」を開催しました。このシンポジウムをはさんだ9日間を「とよた世界環境ウィーク」とし、環境と私たちの暮らしについて、市民のみなさんと一緒に考えるイベントを実施しました。

1/10日 土	11日 日	12日 月	13日 火	14日 水	15日 木	16日 金	17日 土	18日 日
					国連・豊田市共催による「持続可能な都市に関するハイレベルシンポジウム～人と環境と技術の融合～」			
とよたこども国連環境会議				とよたビジネスフェア			環境先進都市・防災フォーラム	
				オイスカ国際協力活動推進会議	サイドイベント (環境省、国土交通省、豊田市矢作川研究所)			
				おもてなし茶会・講演会				
まちなかおもてなし・エコフルタウンイベント								





国連・豊田市共催による 「持続可能な都市に関するハイレベル シンポジウム ～人と環境と技術の融合～」

High-level Symposium on Sustainable Cities: Connecting People, Environment and Technology,
Co-Convended By the United Nations and Toyota City

● 開催日程

2015年（平成27年）1月15日（木）～16日（金）

● 開催場所

名鉄トヨタホテル（豊田市喜多町1-140）

● テーマ

人と環境と技術の融合

Connecting People, Environment and Technology

● 主催

国際連合経済社会局（UNDESA）
豊田市

● 後援

内閣府、外務省、経済産業省、
国土交通省、環境省、愛知県





シンポジウムプログラム

国連・豊田市共催による
「持続可能な都市に関するハイレベルシンポジウム
～人と環境と技術の融合～」

2015年1月15日～16日

愛知県豊田市（日本） 名鉄トヨタホテル

◆プログラム

1日目：2015年1月15日（木）

9:00 - 9:30	登録受付 共同議長 国連経済社会局持続可能な開発部長 ニキル・セス 豊田市長 太田 稔彦
9:30 - 10:15	歓迎あいさつ ▶ 豊田市長 太田 稔彦 ▶ 国連経済社会問題担当事務次長ウ・ホンポ 氏からのビデオメッセージ ▶ 環境副大臣 北村 茂男 氏 ▶ 愛知県副知事 森岡 仙太 氏 ＜メディア開放＞
10:15 - 10:45	グループ写真撮影 休憩
10:45 - 12:00	基調講演 ▶ 国連経済社会局持続可能な開発部長 ニキル・セス ▶ 中国 揚州市党委員会書記 謝 正義 氏 ▶ トヨタ自動車代表取締役会長 内山田 竹志 氏 ▶ とよたこども国連環境会議代表からのメッセージ 長田 ころろさん、西田 ミユリさん、梅村 芽依さん、 穴田 真子さん、川口 勝大さん、河野 有里子さん ＜メディア開放＞
12:00 - 13:30	昼食 サイドイベント（環境省主催）
13:30 - 14:50	テーマ別討論 I「ポスト2015国際開発を背景とした持続可能な都市」 このセッションでは、第3回国際連合人間居住会議（ハビタットⅢ）の準備に向けて、持続可能な都市、都市化、そして都市が果たす重要な役割についてグローバルな見通しとその傾向を示す。 モデレーター：国連地域開発センター（UNCRD）所長 高瀬 千賀子 氏



	<ul style="list-style-type: none"> ▶ HABITAT Ⅲに向けた都市化の傾向と課題 国連ハビタット（アジア太平洋担当）福岡本部長 深澤 良信 氏 ▶ 国連大学サステナビリティ高等研究所プログラムコーディネーター 豊住 朝子 氏 ▶ 地方自治体の役割を含む新たなアクターと体制、国際的なガバナンスの傾向 イクレイ副代表、シティネット 特別アドバイザー メリー・ジェーン・オルテガ 氏 インド人間居住研究所 所長 アロマ・レヴィ 氏（中継参加） <p>◀ 討論 ▶</p>
<p>14：50 - 15：10</p>	<p>休憩</p>
<p>15：10 - 16：30</p>	<p>テーマ別討論 II 「人間を中心に据えた都市開発計画：適応力のある都市」</p> <p>このセッションでは、都市計画および都市運営に関し、人口増加の長期的傾向、人口構成の変化、その他人口統計上の変化に即した都市計画および都市運営について必要とされる都市の柔軟性と適応力の必要性を探る。また、各国における教訓や優れた取組から得られた経験を紹介する。</p> <p>モデレーター：国連アジア太平洋経済社会委員会（UN ESCAP） 環境開発局持続可能な都市開発部長 ドノヴァン・ストーリー 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マレーシア・南クチン市事例発表 南クチン市長 ダトー・ジェイムス・チャン・カイ・シン 氏 ▶ 北九州市事例発表 北九州市環境局環境未来都市推進室長 中本 成美 氏 ▶ 生活の向上：都市計画による貧困削減のための戦略：コロンビアの経験から コロンビア都市開発研究所 所長 ウィリアム・フェルナンド・カマルゴ・トリアナ 氏 ▶ 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 大方 潤一郎 氏 <p>◀ 討論 ▶</p>
<p>16：30 - 16：50</p>	<p>休憩</p>
<p>16：50 - 18：30</p>	<p>テーマ別討論 III 「自然環境保全と持続可能な都市」</p> <p>このセッションでは、持続可能性を促進するための具体的なアプローチと政策に重点を置きながら、先進国および発展途上国双方からの視点に着目し、都市とその周辺の自然環境の相互作用について議論する。</p> <p>モデレーター：成蹊大学名誉教授 廣野 良吉 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 国連アジア太平洋経済社会委員会（UN ESCAP）代表による発表 国連アジア太平洋経済社会委員会（UN ESCAP） 環境開発局持続可能な都市開発部長 ドノヴァン・ストーリー 氏 ▶ スリランカ事例発表 スリランカ交通副大臣調整官 リファイ・モハメド・ザファルーラ 氏 ▶ セネガル事例発表 第3回人間居住と持続可能な都市開発に関する国連会議（ハビタットⅢ） 準備委員会副議長兼報告者、国連セネガル代表部経済社会開発顧問 ママドゥ・ンボジ 氏 ▶ 現代の都市近郊における自然環境の推進と保護 豊田市副市長 幸村 的美 ▶ 英国における森林保全活動 ナショナルフォレストカンパニー代表 サイモン・エヴァンス 氏 ▶ 発展途上国における環境保護、産業の発展そして人間精神の保全をめざす 統合的アプローチのための総体的社会プログラム オイスカ・インターナショナル副事務総長、オイスカ南インド事務所長 アラビンド・バブ 氏 <p>◀ 討論 ▶</p>



18:30 - 19:00	会場移動
19:00 - 21:00	環境先進都市国際会議実行委員会主催レセプション (会場：ホテルトヨタキャッスル)

2 日目：2015 年 1 月 16 日（金）

9:15 - 10:40	<p>テーマ別討論Ⅳ「スマートシティへの取組」</p> <p>このセッションでは、持続可能な都市への重要な原動力となるグリーンテクノロジーと革新技術、およびそれら潜在能力の活用に焦点を置き、スマートシティのコンセプトについて議論する。各スピーカーは、アジアで急速に進む都市化に焦点をあてながら、未来の都市に関するヴィジョンについてプレゼンテーションを行う。</p> <p>モデレーター：建築環境・省エネルギー機構 理事長 村上 周三 氏</p> <p>次世代エネルギー・社会システム実証の成果とその展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 経済産業省資源エネルギー庁 新産業・社会システム推進室長 戸邊 千広 氏 ▶ 豊田市長 太田 稔彦 ▶ 豊田市低炭素社会システム実証推進協議会による発表 <ul style="list-style-type: none"> トヨタ自動車株式会社 川本 雅之 氏 株式会社デンソー 金森 淳一郎 氏 ▶ 住友化学株式会社 玉置 昌宏 氏 ▶ インドネシア事例発表 <ul style="list-style-type: none"> インドネシア・バンドン市長 リドワン・カミル 氏 <p>◀ 討論 ▶</p>
10:40 - 11:00	休憩
11:00 - 12:30	<p>テーマ別討論Ⅴ「レジリエントシティ：優れた実例と得られた教訓」</p> <p>このセッションでは、急速に地球的規模で拡大する、しかも分野横断的な都市問題を克服するための好例や改革案に焦点をあて、統合的な開発計画や持続可能な消費と生産パターンの支援、自然災害および気候変動に対する脆弱性の軽減などを含め議論する。</p> <p>モデレーター：国連ハビタット（アジア太平洋担当）福岡本部長 深澤 良信 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 持続可能な消費と生産パターンの促進—地域的及び国家的取組み <ul style="list-style-type: none"> 国連環境計画（UNEP）アジア太平洋地域オフィス 上席地域コーディネーター ステファノス・フォティウ 氏 ▶ レジリエンス（適応力、強靭さ）を支えるための統合的な地域開発の応用 <ul style="list-style-type: none"> 国連地域開発センター（UNCRD）所長 高瀬 千賀子 氏 ▶ アジア各都市における、気候・災害に対するレジリエンス <ul style="list-style-type: none"> 京都大学大学院・地球環境学堂・地球環境学舎・三才学林 教授 ラジブ・ショウ 氏 ▶ スーダン事例発表 <ul style="list-style-type: none"> スーダン環境・森林・土地開発省、土地開発に関する国民評議会、 土地住宅部長 ソミア・オメール・モハメド・ガミー 氏 <p>◀ 討論 ▶</p>
12:30 - 13:40	<p>昼食</p> <p>サイドイベント（国土交通省主催／豊田市矢作川研究所主催）</p>



<p>13:40 - 15:00</p>	<p>テーマ別討論 VI 「持続可能な都市への投資」</p> <p>このセッションでは、都市が持続可能な開発に対し変革をもたらす原動力となるため、いまどのような投資が求められているかについて発表する。また、都市計画および都市運営への包括的かつ統合的アプローチと同様、ビジネスの好例、官民パートナーシップを含め、内在する要素を探求する。</p> <p>モデレーター：国連環境計画（UNEP）アジア太平洋地域事務所 上席地域コーディネーター ステファノス・フォティウ氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ インドネシア事例発表 インドネシア交通省調査開発局 局長 エリー・シナガ氏 ▶ 持続可能な都市の実践、3Rに向けたビジネス事例 国連地域開発センター（UNCRD）環境プログラムコーディネーター チャウダリー・ルドラ・チャラン・モハンティ氏 ▶ 持続可能なゴミ処理計画：ロシアの経験から ロシア高度環境技術国際センター（ICBET）副所長 ウラジミール・コミサロフ氏 ▶ 持続可能な都市開発に向けた官民パートナーシップ（PPP）モデル 国土交通省総合政策局国際政策課 総括国際交渉官 村上 威夫氏 ▶ 持続可能な都市への投資に関する統合的原則：担い手の育成、障壁の削減および解決策の創造 アジア開発銀行 駐日代表事務所 駐日代表 玉置 知己氏 <p>◀ 討論 ▶</p>
<p>15:00 - 15:20</p>	<p>休憩</p>
<p>15:20 - 17:00</p>	<p>クロージングセッション</p> <p>ニキル・セス国連経済社会局持続可能な開発部長および太田稔彦豊田市長による共同議長「豊田宣言」のための、各テーマ別セッションにおける提言に関するモデレーター報告</p> <p>閉会の辞</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 国連経済社会局持続可能な開発部長 ニキル・セス ▶ 豊田市長 太田 稔彦
<p>17:00 - 17:30</p>	<p>アジア地域における EST（環境的に持続可能な交通）促進のための「京都宣言」追記署名式 国連地域開発センター（UNCRD）主催</p>
<p>17:30 - 18:00</p>	<p>記者会見（会場：名鉄トヨタホテル 伏見の間）</p>
<p>18:00 - 19:30</p>	<p>豊田市主催 フェアウェルレセプション</p>